



病院長 池田 正寿

■皆さま、新年あけましておめでとうございます。平成30年のご挨拶を述べさせていただいたのが最近のことに思えるくらい、あっという間に一年が過ぎました。昔、40才を過ぎたら時間が過ぎるのが早いよ…とおっしゃった先輩がおられました。本当にそう感じます。

■物書きを生業にされている方は別でしょうが、改まった文章を書くというのは本当にストレスを感じます。浅学菲才であることがすぐに露見してしまいますから…と自己弁護した上での今年のご挨拶ですが…



■昨年も当院では様々なことがございましたが、最も喜ばしかったことは重大な医療事故に見舞われなかったことです。ヒポクラテスの誓いの中に“患者に利すると思う治療法を選択し、害と知る治療法を決して選択しない。”があります。これはすべての医療者に共通する想いであると思いますが、同時に達成することが難しい課題でもあります。どうしたら患者さんの不利益を招かないような医療ができるか… 当院でも毎月多職種が集って医療安全対策委員会を開催しています。ヒヤリハット事例の検討は有意義ではありますが、

これは後ろ向き手法です。前向きに医療事故を減らすための方策はないか…とすることで、(業務の効率化と生産性を高める手法である)“プロセス・フロー・チャート(以下PFC)”作成を実施している施設の教を乞うことにしました。これは定型的な作業に対しPFCを作成→標準化・可視化しておくことでミス回避のための手法です。当院では一昨年から各部署で試行錯誤を繰り返しながらPFC作成に取り組み、緩徐はあるものの少しずつ形ができてまいりました。PFCは院内LANで共有化され部署が異なっても随時閲覧できるようになっております。想定外の事態が生ずることを100%避けることはできない…としても、本年もこの前向きな取り組みを発展させてヒポクラテスの誓いの実践に努めたい…と思います。



■次に昨年の出来事としてご報告できることは、経皮的冠動脈形成術が通算で一万例を超えたことです。当院の開院が平成3年ですので足掛け27年を要して到達できたことになります。当院を信頼して治療を託して下さった患者さまに対して心より御礼申し上げる次第です。一万例達成の朗報は、記念イベントを開催した昨年11月2日にNHKの地域ニュースで報道されたほか、翌3日の北國新聞紙上でも記事として掲載されました。その歩みを述べさせていただきますと、第一例目が平成3年6月5日、千例達成が平成11年11月2日、最初の千例に八年間を要しました。千例達成以降は年間平均500例のペースとなり昨年10月2日に一万例の節目を超えることができました。この間には様々な出来事があり、急性心筋梗塞治療時ではご期待に沿えない結果となったこともありました。他方、予想を超えた治療結果を得られることができて医者冥利に尽きる…との感を得たこともございました。医療行為と言うものは治療例数を誇るものではあってはならないことを自覚しつつも次は十万例を目指して精進を重ねます。■簡単に十万例と申しましたが、今のペースだと十万例到達には180年かかることとなります。最も若い職員でもその瞬間に立ち会うこと

はできません。不可能であることは知りつつも180年後は西暦2198年で、その時の日本の医療状況がどうなっているのか…非常に興味がわきます。漫画「ドラえもん」では22世紀の未来からやってきた設定になっていますから彼はいるはず…(笑) まさか、ガミラス帝国の侵略を受けているなんてこともないはず…(宇宙戦艦ヤマト(笑))

■医療の世界では10年～20年の周期でパラダイムシフトが起こっていますので今では想像もつかない世界となっているのでしょう。ひょっとしたら心臓は再生できるものとなっている経皮的冠動脈形成術なんて過去の遺物になっているかも…



■翻って180年前の日本は江戸時代で江戸四大飢饉の一つである「天保の大飢饉」の真最中でした。江戸時代後期の平均寿命は40才前半とされていますが(出典不明)医療環境だけでなく社会環境が未整備であったために多くの方が短命で終わらざるを得なかった時代であったと考えます。ちなみに私は北陸出身ではないのですが、金沢大学に入学して当地で生活が始まった折、地元の方が「大変な…」とか「途方もない…」ことを「てんぼな」と表現されることを不思議に思いました。物知りな方に伺ったところ「天保の大飢饉」に語源があると聞き“へえー”と思ったことがあります。「天保の大飢饉」での最大の被害地は東北地方であったかと思いますが、当地でも相当な被害があったためこの表現が後世に残ったのでしょうか。



■許された紙面も残り少なくなりました。本年も皆さまにご迷惑をかけるような“てんぼな”ことが起きないよう慎重に業務を行いますので引き続き当院をご愛顧下さい。皆さまにとって今年が幸多い一年となりますように祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで
新春の御祝詞を
申し上げます

CCI-K 2019のご案内

■今日の我が国においては、高齢化と糖尿病患者の増加に伴い冠動脈疾患および末梢血管疾患の患者数が年々増加しています。これらの疾患に対する血管内治療（冠動脈形成術 PCI、末梢血管拡張術 EVT）は第一選択の治療法として確立しており、また透析シャント血流不全に対する血管内治療（VAIVT）も普及してきております。

■これらの血管疾患に対する確実な診断とより良い血管内治療技術の習得を目的に、当院の名村正伸医師（最高経営責任者：CEO）を中心に金沢循環器インターベンション研究会として“Comprehensive Cardiovascular Intervention-Kanazawa(CCI-K)：包括的心血管形成術”を2016年から行ってきました。この研究会は実際の治療手技をライブデモンストレーションの形で提供し、その実際の手技を通じて血管内治療の技術的な問題や安全性を討論する研究会です。興味ある医療関係者およびスタッフの方々のご参加をお待ち申し上げます。

今回は **2019年6月14日(金)** および **15日(土)** に当院にて開催することになりました。



Comprehensive Cardiovascular Intervention-Kanazawa(CCI-K) 2019
金沢循環器インターベンション研究会 事務局代表 堀田祐紀
(心臓血管センター金沢循環器病院 副院長 循環器内科)

プログラムなど詳細はホームページをご覧ください（後日掲載予定）
<http://www.kanazawa-heart.or.jp/CCI-Kanazawa>（QRコードもご利用下さい）



■病院長 新年ご挨拶
■ CCI-K2019のご案内

救急は24時間
365日対応
☎ 076-253-8000

外来担当医一覧表

		月		火		水		木		金		土
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM
内 科	循環器内科	①						③				⑥
	池田							①				⑥
	堀田			①								⑥
	寺井		④			①⑨						⑥
	辻本								②			⑥
	役田											⑥
	藤田				⑤		⑤		②			⑥
	橋本											⑥
	小林											⑥
	不整脈科	⑦		⑧	⑧							
内 科	腎臓内科											
	糖尿病内科											
	呼吸器内科											第4
	消化器内科											

①初診専用外来（受付は11:30まで）②初診専用外来 藤田（第1・3週）辻本（第2・4・5週）（受付は11:30まで）
③フットケア外来 ④禁煙外来 ⑤睡眠時無呼吸外来（14時～17時：要予約）⑥8週に1回
⑦ペースメーカー外来（第1・2・4週のみ）⑧不整脈外来（要予約）⑨TAVI外来

心臓血管外科	上山										①	
	乃田										②③	
	坂倉											

①リンパ浮腫・多汗症 ②ペースメーカー外来※ ③新患静脈瘤外来（要予約）※
※緊急手術で休診の場合もありますので、お問合せください

放射線科	分校											
整形外科	出村											第1
	林(克)											第3

■ 外来診療時間 ■

月～金 9:00～12:00、13:30～16:00
土 9:00～12:00（毎月第2土曜日休診）

■ 当直スタッフ 直通電話 ■

当院では、当直スタッフ直通的携帯電話（PHS）を用意しています。胸痛などの症状で心臓病が気になる方、症状にお困りの方、ご遠慮なくご利用ください。

当直スタッフ 直通番号
平日夜間、土・日・祝日の全日
☎ 070-5063-8000

■ 面会時間 ■

当院の面会時間は20時までとなっています。緊急を要する患者さま以外は、21時以降入館をお断りしています。申し訳ございませんが、緊急のご用の方は夜間受付までお越しください。



浅ノ川病院グループ 心臓血管センター金沢循環器病院
www.kanazawa-heart.or.jp

new year 2019

■ 病院理念 ■

高度な循環器専門医療から高齢者慢性期医療にいたるまで「患者さま」に寄り添った医療を提供します。

■ ビジョン ■

循環器病院の総合的地域中核病院になること。
地域・患者ニーズに合わせた病院機能への転換。



医療法人社団浅ノ川

心臓血管センター金沢循環器病院

〒920-0007 石川県金沢市田中町16

TEL076-253-8000 FAX076-253-0008

<http://www.kanazawa-heart.or.jp>

info@kanazawa-heart.or.jp

編集 / 広報委員会 はあとふる Vol.52 発行日 2019.1.20

